



2025～2026年度

東京江東ワイズメンズクラブ ブリテン

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED, 1959
KOTO YMCA 3-15 ISHIJIMA KOTO-KU TOKYO JAPAN.
PHONE 03 3645-7171. FAX 03 3645-8454

MAR 3

つながる つなげる

東京江東クラブ会長 大原真之介

今月の
強調テーマ

CS、Green Project、 ワイズメネット

国際会長 エドワード・オン (シンガポール)

主 題：“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
スローガン：“Together Stronger” 「共に、より強く」

アジア太平洋会長 田上 正 (熊本むさし)

主 題：“Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう！」

スローガン：“Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」

東日本区理事 山下 真 (十勝)

主 題：“Rediscovering Y's Uniqueness”
「ワイズのらしさ再発見」

スローガン：“Change!” 「Change!」

関東東部部長 鈴木雅博 (東京江東クラブ)

主 題：“CHANGE (変革) 若者から発信”

江東のワイズは 細胞膜

井口 真

YMCA と言ったらどんなイメージを持ちますか？皆さんそれぞれに YMCA に対する印象があるかと思いますが。私は京都 YMCA に奉職しました。ちいさな地域センター、野外活動センター、専門学校、とちぎ YMCA では、特別養護老人ホーム、幼稚園を経験し、障がい児者活動、居場所事業 liby や通信制高校の立ち上げを経験しました。YMCA では異動になると転職するようだといわれる通りです。しかし、どこへ行っても必ずワイズメンズクラブがありました。リーダーと子どもたちと野外活動をしていた駆け出しの私を社会人として育ててくれたのはワイズメンだと感謝しています。



2年前に「江東」という文化に触れました。これは初体験でした。例会が終わると飲みに行くのはよくあることとして、みんな歩いて帰っていきます。もうご近所さん。しかもよく聞くと、殆どの方が本人かお子さんが江東YMCA幼稚園出身です。

幼稚園が核となり、YMCA ならではの野外活動やボランティアリーダー、様々なプログラムがそれを取り巻いている。卒園児が野外活動に関わり、リーダーを経験した後結婚し、保護者となって帰ってくる。そのうちにワイズメンになったりする。だからワイズとYMCAの距離が近いとか、そんな表現じゃありません。保護者やワイズやリーダーといったそれぞれの集団の境目が非常に、細胞膜のように薄いのです。これが、「オール江東」と呼ばれるものなのだなと思います。この薄い細胞膜は宝物だと思います。

今年はこの地にYMCAができて75周年。新しい江東を描く力は、細胞膜にあると信じます。

3月例会

日時：2026年3月29日(日) 12:00～

会場：東京 YMCA 江東センター園庭

会費：2,000円(ゲスト：3,000円、子ども参加の場合無料)

プログラム

開会点鐘	会長 大原真之介君
会長挨拶・ゲスト紹介	会長 大原真之介君
食前の祈り	駿河幸子さん
乾杯	藤井寛敏君
歓談	各自近況報告
ハッピーバースデー&ハッピーアニバーサリー	
閉会点鐘	会長 大原真之介君

今月の Happy Birthday

安齋 克茂君 (22日)、滝沢 圭太君 (26日)

結婚記念日 菅原夫妻

今月の聖句

もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。(ヨハネによる福音書 15章15節)



2月会員数	2月出席者	2月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
26名 内広義会員1名、 休会1名	メンバー 16名 メネット コメント ゲスト ビジター	67% (16/24)	1月まで	1454871	1月まで	19810	会長	大原真之介
			2月分	0	2月スマイル	0	相談役	小松 重雄
					累計	19810	会計	駿河 幸子
			残高	1454871			書記	滝沢 圭太
							直前会長	相川 達男
							連絡主事	井口 真

3クラブ合同例会に乱入

山崎 常久



第3木曜日は例会。東京江東クラブの伝統である。忙しかろうが雨が降ろうが槍が降ろうがワイズメンたるものジャケットを羽織りネクタイを締めクラブバッジを付けて参加しなければならない。60余年の歴史ある決め事である。そんな2月の例会は場所を変えて東京 YMCA 山手センターに乱入した。東京西クラブ、東京武蔵野多摩クラブ、東京たんぽぽ Y サクラブの3クラブが合同例会を同じ第3木曜日に開いているので表敬乱入である。最近、内向きでドメスティック、自己満足チックな江東クラブに他クラブの雰囲気を入力すべく大先輩からのアドバイスを受けての乱入。流石は伝統を重んじる西クラブ主催の例会はトラディショナルでオーソドックススタイル、開会点鐘に始まり、ワイズソング、祈祷、会長挨拶、ゲスト紹介からの講師による卓話。今回の講師は東京 YMCA 国際ホテル専門学校 の学生指導室長の波々壁賢さんによる「ホテル学校から見る今の学生たち」。若者言葉の変遷から学生気質の変容をコロナ禍の影響も織り込んでの観察眼と言語化は判りやすく見事であった。ただ傘寿を超えた面々に響いたかどうかは不明。ハッピーバースデー、ワイズ報告、YMCA 報告と定型スタイルで例会は進行し閉会点鐘。有志によるアフター懇親会は会場を近場の座敷居酒屋「わっしょい」で12名で賑々しく開催。参加した面々は久しぶりの他クラブとの交流を満喫した。(参加者:相川、安斎、井口、大原、小松重、島田、駿河、藤井、本間、山崎、以上10名)

ワイズカップサッカーについて



大原 真之介

「YMCAさん、ワイズカップの時は本当に強いよね!!」とサッカー連盟の指導者皆さんとお話しをする時よく話題に上がることです。(10年も前の話ですが、...)

そして必ず言われるのが、他のどの大会よりも、賞品が豪華!ということ、しかも真冬のサッカー大会でアツアツの具沢山”とん汁”が800人以上の子どもたちや指導者に振る舞われるということが 人気を博した大会である理由の一つでした。

YMCAの子どもにとっては、ホームの強みというものでしょうか?子どもたちが信じられないくらいに普段以上に力を発揮する場面が星の数ほどあり、どんな強敵にも逆転勝利してしまう試合に何度立ち会ったものか、涙が溢れたものか、...、リーダーもサポーターの保護者の皆さんも応援の熱量が違います。

また、リーダー目線としては、指導者としての自分の不甲斐なさを感じたり、次はもっとこうしたい、子どもたちが成長するためにどのようなトレーニングをしたら良いのかと深く考えるきっかけも与えてくれるものでした。

この大会の支援が30年以上も続いていることは我が江東ワイズメンズクラブが心から誇れることなのです!!!子ども・ユ-

スリーダー・スタッフにとって大きな学びの機会となり、地域コミュニティをつなげ、YMCAとワイズの価値を高める素晴らしい唯一無二のプログラムであると心から思っています。

今後ともYMCAの子どもたちにとって最高の機会提供を!!時代や地域のニーズに合わせながら良きプログラムであり続けることを心から願い、ワイズとして全力サポートをしていきます!!

ワイズカップサッカー大会(小学1年生の部)

駿河 幸子

2月22日 日曜日。少し強い風が吹いたときもありましたが、小春日和の午後「ワイズサッカー交流会 幼児の部」が開催されました。

江東区や近隣の区からサッカー少年・少女たち、15チームが参加しました。

小さな体でボールを追いかけ、チームの友だちと精一杯試合に挑む姿は幼稚園児といえども一人前のサッカー選手でした。そんな微笑ましい未来のサッカー選手たち。

ワイズメンとしては、コロナ以降も食べる物を提供することは控えていましたが、頑張る幼児さんたちに、せめて何か喜んでもらえる美味しいものを提供できないかと願いました。その結果、いっぱい走ってエネルギーを使ったときには甘いものが良いのでは。2月と言っても寒い日もある、体が温まる温かいものが良いのでは。と温かくて甘いものから「おしるこ」を提供しようとなりました。

当日、参加したワイズメンは大原会長、小松(重)さん、アドリエンさん、藤波さん、井口さん、駿河の少数精鋭でした!幼稚園のキッチンで、15*のあんこを大鍋で溶かし、程よいとろみのお汁粉を作りました。千石グラウンドまでそーっと運び、「お汁粉コーナー」を開設。冷めないように卓上コンロで温めながら子どもたちが来るのを待ちました。試合が進む中、待ち時間になったところでチームごとに可愛い子どもたちがやってきました。コーチの方々からしっかりとご挨拶の指導を受けながら「ありがとう」とお汁粉を受け取る姿に、指導される方々の丁寧さがうかがえました。和のテイストが令和の子どもたちに喜ばれるかなあと、一抹の不安も感じていたのですが(私だけかも)、「白玉入りのお汁粉」は予想に反して大盛況!「おかわりある?」と何度も聞きに来る子どもたちもいたほど!

久しぶりの食べ物の提供。再開できて本当に良かったのではないのでしょうか。

実践部隊が中々集まらないワイズとしての課題の中ですが、お汁粉であれば少人数でも対応ができます。なにより、子どもたちの沢山の笑顔が見られた活動に嬉しいときとなりました。

サッカー大会は、優劣をつけるのではなく、一人ひとりが力を発揮し、チームで一杯頑張る、そのような交流会でした。けれども参加した子どもたちにとっては充実した時になっていました。今の子どもたちにとって、とても大切な催しになったのではないのでしょうか。

ワイズが支えることで、子どもたちのための良い環境を整えることが出来、笑顔いっぱいの日を過ごされたことに、ワイズメンとして感謝でした。

お昼をとる時間がなかった少数精鋭たちにとって、小松さんからの差し入れ「さくらもち」は五臓六腑に染み渡りました!

小松さん、ご馳走様でした!

ワイズカップサッカー大会(小学1年生の部)

井口 真

今年は、ワイズカップが2回ありました。その2回目は3月8日(日)、辰巳グラウンドで行われました。江東区内のFCに声をかけ、さらに元ペガサスリーダーをしていた人が現在担当しているチームも練馬から参加してくれていました。総勢全20チーム、子どもだけで200人以上、総勢500人くらいの大会になりました。

第55回の今年は毎試合ごとに、相手チームの中でフェアプレイや思いやり、挨拶などが目立って良い選手を1人選んでステッカーを送り合う、キャラクターディベロップメント賞を設けるなど、YMCAらしさも打ち出した大会となりました。YMCAチームは2位グループでの優勝となりトロフィーを獲得しました。

大会終了後、多くのチームからお礼と、素晴らしい大会だったこと、幼児の部とともに、小さい学年の大会を開いていることに、感謝の言葉をいただきました。多くの子どもにもクラブにも喜ばれる大会を開催できていることをうれしく思いました。

関東東部の集いに参加して

藤波 聖佳



春うららかな天候のなか、東陽町YMCAにて関東東部の集いが開かれました。

講演会は聖カタリナ病院の辻院長先生にお越しいただきました。「運動療法のウソ・ホント」と題して整形外科医の立場から考える運動療法の実際についてお話を頂きました。SNSの発展により医師免許を持たない人でも自由に発信ができるようになった今、世間はウソかホントかわからない情報に溢れています。そんな時代だからこそ、専門医の知識をベースに展開される論理的な説明は非常にわかりやすく勉強になりました。まずは自分の身体の状況を知ること(いいとされる運動も人によっては悪化することもあること)、運動は負荷よりも継続が大切であることを再認識しました。質疑応答では途中から「診察室かな?」と思う流れになりつつも、多くの質問が出て大変盛り上がりました。みんな普段から気になっていることをいろいろと聞いて晴れやかな表情でした。反り腰が気になる私は天然のコルセットと呼ばれる腹横筋を鍛えようと思います!

今回参加して良かったと思ったもう一点はワイズメンズクラブの組織についての理解が深まったことです。東日本区理事の山本さん、あずさ部部長の山口さんをご参加くださりお話することができました。部会を超えた繋がりは他クラブの活動を知ったり、色々な考え方を教えていただくとても貴重な機会であり、刺激にも勉強にもなります。今後もクラブを超えた交流が盛り上がりていくと良いなと思いました。これからいろいろな例会に参加して多くの方のお話を聞いてみたいです。

「インド体験・交流プログラム」参加報告

岡 翔和(ぬこリーダー)

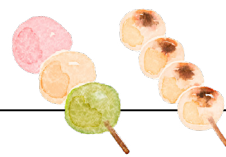


2026年2月19日から3月2日までの約2週間、江東ワイズメンズクラブのご支援により、ワイズメンズクラブ東日本区や埼玉ワイズメンズクラブとハイデラバードワイズメンズクラブなどが中心となって企画された国際交流プログラムでインドのハイデラバードを訪問しました。現地YMCAやクラブの皆様にも温かく迎えられ、インド社会を多角的に学ぶ貴重な機会を得ました。

滞在中は、大学やヒンズー系学校の訪問、IT特区(ハイテクシティ)の視察、市内観光やヨガ体験、さらには現地の結婚式への参列など、教育から文化、経済の現場まで幅広く体験しました。街の圧倒的な交通量と人々の活気に驚かされるとともに、IT分野などを専攻する学生たちのエネルギーから、この国の急速な発展と将来性を肌で感じました。一方で、カースト制度や貧富の差といった格差社会の現実にも触れ、インドが抱える複雑な側面も学びました。その中で最も強く心に残ったのは、現地の人々の温かなホスピタリティと豊かな感情表現です。初対面でも家族のように接してくれる優しさに触れ、渡航前の印象が大きく変わりました。チャイを飲みながら談笑し、効率だけにとらわれず「ゆったりと生きる」姿勢からは多くの気づきを得ました。

今回の訪問は、インドの発展と課題を知るにとどまらず、自分自身の価値観や生き方を深く見つめ直す契機となりました。ハイデラバードでの素晴らしい出会いと時間に心から感謝しています。

京都で会いましょう



井口 真

この4月から、私は江東を離れて、京都YMCAに出向となります。YMCAに奉職したのは京都からでした。35年前の出来事であり、壮大な出戻りとなります。素晴らしい方々との出会いに恵まれ、私にとって京都は第二の故郷です。

ときどき勘違いをしている人がいるのですが、YMCAの仕事に、出世や左遷はありません。現場の最先端も総主事も、神様にやれと言われていたことをやるYMCAという仕事を構成する一部だからです。現場で直接人と接する仕事が一番楽しいに決まっていますから、できれば現場にいたいとは思いますが。

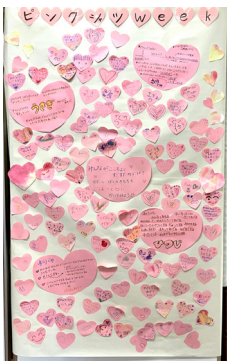
そして、営利団体ではないYMCAの成果とは何かと言われれば、それはYMCAに出会って人生が変わってしまった人。そういうこそがYMCAの成果です。私はどこにいても、そこは変わらないと思って、そんなYMCAに憧れてこの仕事を続けてきました。4月からは京都で、その憧れの仕事を続けます。職業人としての最後は京都で迎えるようです。どうぞ皆さん、京都に遊びに来てください。また京都でお会いしましょう。

YMCA ニュース

江東コミュニティーセンター&幼稚園 江東YMCAの報告

▼幼稚園&コミュニティーセンター ピンクシャツデー

幼稚園・センター全体でピンクシャツデーについて考える1週間を持ちました。～いじめのない世界とは?みんなが心地よく過ごすためには?～について、子どもたちとクラスで話し合いをし、ハートの紙に書いて貼る活動をしました。降園時間に自分の思いを書き込む姿も見られました。



おもちつき

2月12日(木)に今を時めく安治川部屋からお相撲さんに来ていただいて、たくさんのお餅を捣きました。園児は自分たちでもお餅意をついてみましたが、お父さんやお相撲さんの力強さにびっくり。その後の子ども相撲では、大きなお相撲さんに挑戦していました。



ワイズカップサッカー大会

2月22日(日)千石グランドにて幼児の部、3月9日(日)辰巳グランドで小学生の部を開催しました。千石グランドでは試合の合間にワイズ提供のお汁粉がふるまわれ、お代わりを望む声上がるほど好評でした。また、小学1年生の部だけを開催できた3月8日はきちんとトーナメントを行い、YMCAのペガサスは2位パートでの優勝を飾りました。江東ワイズメンズクラブの支援によってこの大会が55回目を迎えられることに心から感謝します。



錦糸町駅前国際協力街頭募金

2月28日(土)11時から12時までのわずか1時間でしたが、在園時、卒園児、保護者、サッカーメンバー、リーダースタッフ総勢21名で国際協力街頭募金を行いました。バングラデシュの子どもたちの教育を支えるため、ウクライナの子どもたち



編・集・後・記

今月は私が3週間以上咳が止まりません・・・(BB) 部下の人事異動は仕事の割り振りが大変。でも本人の成長に繋がれば。(Y.S)

のためのキャンプのため、声を張り上げる経験でした。成果はなんと7万円越え。ワイズも募金をしに駆けつけてくださいました。

ゆり組だけの幼稚園

3月7日(土)今年是一年長の卒園遠足ではなく、年長のゆり組だけの幼稚園を行いました。子どもたちがやりたいことをすべて叶える楽しみな一日。自由遊びから全体遊びの後、園庭でのミニキャンプファイヤー、スープとケーキのパーティーなど盛りだくさんの一日を過ごしました。



江東センター&幼稚園の予定

- 東日本YMCAサッカー大会:3月26日(木)～28日(土) 鹿島ハイツスポーツプラザ
- 幼稚園 始園式:4月10日(金)
- 幼稚園 入園式:4月11日(土)

オール東京の今後の予定

- 1月31日、会員部主催の「ソシアスフォーラム2025」が山手センターで開催された。「TOKYO YMCA VISION150」の進捗状況の報告に続き、『「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」が問うこと』と題して基調講演。後半は小グループに分かれユースリーダーによるレクリエーションやキャンプソングを楽しんだ。会場では、能登半島地震・豪雨被災者支援のための物産販売を行った。
- 2月11日、青山学院初等部にて「全体職員研修会」が実施され、233名の職員が参加した。片柳弘史神父より「奉仕の美りは平和～マザー・テレサの言葉に学ぶ」と題して講演をいただいた。後半は事業部を越えて36のグループに分かれて意見交換をした他、各部の紹介を行った。

今後の主な予定

- ・「職員就業礼拝」4月1日(オンライン)
説教:古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
- ・「第35回チャリティーゴルフ大会」4月28日 PGM総成ゴルフクラブ
- ・「第23回会員大会」5月23日 山手センター

<江東ワイズ 今後の予定>

3月26日(木) 19:00～	井口担当主事壮行会	
3月28日(土) 11:00～	役員会	江東センター
3月28日(土) 12:00～	本例会	江東センター
4月2日(木) 19:00～	第一例会	江東センター
4月16日(木) 19:00～	本例会	江東センター or 山手センター合同
4月23日(木) 19:00～	役員会	江東センター
4月27日(月) 18:00～	フランク蔡夫妻歓迎の会	銀座近辺